



1. 序論

洋服は時代と共に変化しているが、ウェディングドレスも時代と共に変化しているのだろうか疑問に感じた。また、多くのウェディングドレスにはレースが使用されているが、何故ウェディングドレスにはレースが好まれているのか、ウェディングドレスに使われているレースにも変遷はあるのかを調べ、ウェディングドレスの変遷と共にそこに関わるレースの歴史とウェディングドレスとレースの関係を調査し明らかにした。

2. 調査方法

雑誌「Wedding book」、「The wedding dress」の特集ページでのウェディングドレスをスキャナアプリで取り込み、創刊号 1992 年から 2017 年までの 25 年間の調査・分析を行い、ウェディングドレスのシルエット、ウェディングドレスにレースが使われている作品の割合、ウェディングドレスに使われているレースの大きさ、印象等を比較し、グラフ等に整理した。



図 1.表紙



図 2.レースが使われている作品

3. 結果

雑誌「Wedding book」、「The wedding dress」の特集ページ内の分析件数は、ドレス 975 体、期間は 25 年間であった。ウェディングドレスにレースが使われている作品の割合は、1992 年から 2017 年まではほぼ一定して約半数でレースが使われていることがわかり、レースの柄の大きさは、1992 年から 1996 年までは大柄の割合が高く、1997 年から 2010 年までは小柄の割合が高く、2011 年以降再度大柄の割合が徐々に増加し、有意な変化が見られた。ウェディングドレスのシルエットの結果分析では、1992 年から 1997 年まではボリュームのあるシルエットの

割合が高く、1998 年から 2017 年までは体に沿ったシンプルなドレスの割合が高い事が分かった。

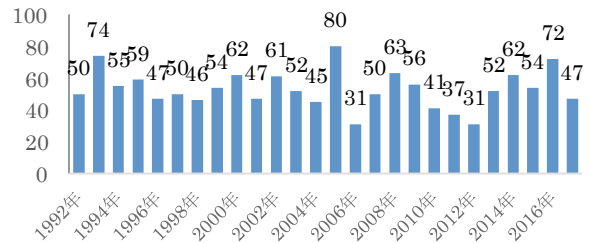


図.3 ウェディングドレスにレースが使われている作品の割合

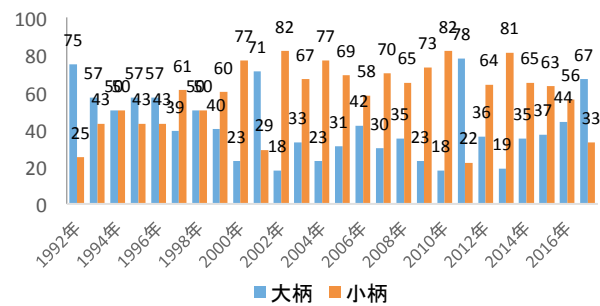


図.4 ウェディングドレスに使われているレースの柄の大きさの割合

4.総括

ウェディングドレスに使われているレースに極端な流行は無いものの、使われているレースの柄の大きさには変化があり、今後さらに大柄のレースの割合が増えていく可能性が示唆されている。シルエットの分析から、シンプルなシルエットに変化してきていると考えられる。ウェディングドレスにレースを使うことで、花嫁を一層際立たせ、より美しく見せ、レースはドレスに重要な役割を与え、ウェディングドレスとレースの関係は極めて密接であると考えられる。この研究結果からレースを使用したウェディングドレスのデザインを改めて提案し、実際にウェディングドレスを制作した。

謝辞

作品制作に終始熱心にご指導頂いた榎本春榮先生、レースを御提供して頂いた栄レース様に心より御礼申し上げます。